

平成30年3月

各 位

宮城県卓球協会  
会長 柴田 幸男  
(公印省略)

第68回全日本実業団卓球選手権大会宮城県予選会について(案内)

1. 名 称 第68回全日本実業団卓球選手権大会宮城県予選会
2. 日 時 平成30年4月30日(月・振) 11:00 試合開始予定
3. 会 場 仙台市出花体育館(JR仙石線 中野栄駅徒歩約10分)  
仙台市宮城野区出花一丁目13-7 TEL022-786-3446
4. 主 催 宮城県卓球協会
5. 共 催 仙台市卓球協会
6. 後 援 日本卓球株式会社
7. 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦
8. 試合方法 ①各種目とも申し込みチーム数により、リーグ戦又はトーナメントとする。  
②チームは監督1名、コーチ1名、選手4名～6名を登録し(監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)、4シングルス・1ダブルスで編成し、3番目にダブルスをおき3点先取法により行う。又、各選手は単複に重複して出場することができるが、1番・2番の選手で3番のダブルスを組むことはできない。  
③外国籍の選手は全種目とも、各試合で単・複いずれか1回のみ出場とする。  
※申し込み後の監督、コーチ、選手の変更、追加は大会当日受付時までには申し、届を作成後の速やかに提出のこと。それ以降の変更・追加は認められない。
9. 参加資格 選手は、平成30年度宮城県卓球協会選手登録予定者。  
監督・コーチは、平成30年度宮城県卓球協会役員登録予定者。  
監督・コーチ・選手は必ず4月末日までに登録手続きを完了してください。  
選手が監督・コーチを兼ねる場合、選手登録と役員登録が必要です。  
なお、詳細は別紙参照のこと。
10. ルール 現行の日本卓球ルールによる。  
但し、タイムアウト制は適用しない。  
ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTTAが公認した接着剤のみを使用すること。

11. 使用球 日本卓球株式会社 40mmホワイト（プラスチック球）
12. 参加料 1チーム 5,000円
13. 参加料 参加料は払込取扱票にて振り込んでください。【納入期限4月9日(月)】  
納入方法 ゆうちょ銀行振替口座 口座名：宮城県卓球協会 口座番号：02270-3-40587  
注意：通信欄に必ず大会名、チーム名、申込責任者の氏名を記入してください。  
ゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口、払込み機能付きのゆうちょ銀行のATMからお振り込みください。他の金融機関からの振り込みは出来ません。  
手数料はご負担ください。
14. 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入し下記宛に送付すること。  
事務局への持参、FAXでの申し込みは受け付けません。  
〒981-0943 仙台市青葉区国見一丁目8番1号 東北福祉大学内  
宮城県卓球協会宛 TEL/FAX 022-233-8364
15. 申込締切 平成30年4月10日（火）必着
16. 本大会 平成30年7月19日（木）～22日（日）  
鹿児島アリーナ（鹿児島県鹿児島市）  
宮城県からの出場枠 男子 4チーム 女子 3チーム  
本大会参加料50,000円は出場チーム負担となります。
17. その他 ①ゼッケンは平成30年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。  
ただし、ゼッケン印刷等の為に間に合わない場合は前年度のものでも可。  
②競技中、万一事故があった場合、主催者側は責任を負いません。  
公益財団法人日本卓球協会「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。  
③会場の設営並びに後片付けにご協力ください。  
④駐車場には限りがありますので、皆様には公共の交通機関を利用するか、乗合で  
ご来場いただき、持込み車両台数を極力減らすようお願いいたします。満車の場合  
は、各自で駐車場をお探しいただくこととなりますことをご了承ください。  
⑤本大会出場権を得たチームは、予選会当日本大会参加料を納入していただきます。  
⑥大会に参加する選手は段位が必要となります。有段者でない方は予選会当日段位  
申請手続きを行ってください。  
⑦同日、同会場において、第一三共ヘルスケアレディース2018第30回東北プロ  
ックレディース卓球大会宮城県予選会を9時より行います。  
⑧申し込みの際は、必ず参加申込用紙の控え（コピー）をお取りください。

☆この大会に関する問い合わせについて☆

※問い合わせはメールでのみ受付いたします。E-mail：miyagikentaku@gmail.com  
注：携帯電話・スマートフォンの場合は、miyagikentaku@gmail.com からのメールを  
受信できることが必要となります。

## 第68回全日本実業団卓球選手権大会参加資格

- ①各都道府県の予選を勝ち抜いたチームならびに推薦出場チームを構成する選手は平成30年度(公財)日本卓球協会選手登録をし、監督・コーチは当該年度(公財)日本卓球協会役員登録をする。  
監督・コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。選手は段級制規程(注1参照)に定められた有段者とする。  
尚、申し込み後の監督、コーチ、選手の変更、追加は監督会議終了までに届を提出すること。監督会議後の変更は認められない。
- ②チームの編成は、原則として同一都道府県内の同一官公庁・警察署・消防署・工場・会社・商店・学校(以下団体という)単位とし、平成30年4月30日以前から引続き当該団体に正社員、正職員、契約社員(1年以上の契約)または嘱託(1年以上の契約)として勤務(所属)している加盟会員とする。(学校の場合、学生、生徒を除く)
- ③②の条件でチーム編成ができない場合、同一都道府県内および他都道府県にある同一名称のつく支局・支社及び各工場(子会社を含む)等とチームを統合してもよい。(チーム名にA, B,などを冠したものは同一チームと見なす)その場合、他都道府県登録選手2名までをチームに加えることを認める。ただし、その選手の本来所属している団体が大会出場(予選会を含む)している場合、関連他チームへ加わることはできない。また、予選会で敗れたチームからの補充はできない。
- ④③を適用する団体は、各都道府県の予選会および本大会への申込書にその旨を明記すること。なお、チーム編成に不正とみなされることがあった場合は失格とすることがある。
- ⑤推薦出場チーム  
男・女共、日本リーグ1部・2部の全チームおよび、前回大会の男子ベスト32のチーム及び女子ベスト16のチームとする。 ※宮城県内チーム該当なし。
- ⑥参加資格等に疑義があるときは、本会が調査審議の上、その可否を決定する。

### 注1) 段級制規程要約

段位取得について(平成4年3月の理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

- ①全日本社会人卓球選手権大会
- ②全日本選手権大会(マスターズの部)
- ③全日本選手権大会(一般・ジュニア)
- ④全日本選手権大会(団体の部)
- ⑤全日本実業団選手権大会

上記5大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加は出来ない。ただし、全日本選手権(マスターズの部)の70歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

#### 段位取得規程要約(平成元年以降)

- |                                 |    |
|---------------------------------|----|
| (ア) 初出場者                        | 初段 |
| (イ) 同一大会3回目出場者                  | 2段 |
| (ウ) 同一大会5回目出場者                  | 3段 |
| (エ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト16入り経験者 | 4段 |
| (オ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト4入賞経験者  | 5段 |
| (カ) 上記①及び③大会(一般)単または複の優勝者       | 6段 |